



\\ For Good Practice //

昭和大学  
認定看護師教育センター

## リカレントカレッジプリンシパルあいさつ



プリンシパル  
小川 良雄

昭和大学リカレントカレッジには、認定看護師教育センター、看護キャリア開発・研究センター、薬剤師生涯研修制度認定事務局、リカレントカレッジの4つの部門があります。前3者は看護師、薬剤師の専門職としてのスキルアップ、そして後者は社会人のために新たな学びの場を提供しています。

認定看護師教育センターは2020年10月から教育が開始されました。手術看護分野、腎不全看護分野、認知症看護分野がスタートしており、2023年から感染管理分野、クリティカルケア分野が加わり、ますます充実してきました。現代の医療では高度な先進医療はもちろんのこと、患者さんの全身管理においても、より高度で専門的な看護技術が求められます。特定行為ができる認定看護師がチーム医療の中で今まで以上に活躍することが期待されています。

当センターでは本学の当該診療科教授陣をはじめ学会専門医や専門教員が熱心な指導を行い、レベルの高いスキルを身につけることが可能です。さらに本研修の中で本学のモットーである、常に患者さんに寄り添える診療の心を身につけていただけることと思います。

## センター長あいさつ

認定看護師教育センターでは、5分野のB課程での認定看護師教育を行っています。認定看護師を目指す士気の高い看護師たちが全国から集い、ともに学び、切磋琢磨しています。集まった看護師たちの置かれている状況も学ぶ看護分野も様々ですが、将来、第一線で、認定看護師として患者さんのために専門性の高い看護実践をしたいという目標は共通しています。

本センターでは、昭和大学に理念に基づいて、社会に貢献できる認定看護師を育成します。それぞれの分野において質の高い看護実践を行う能力を高め、さらに新たな看護実践を創造し社会全体の看護の質を牽引する認定看護師を輩出しています。

学びたいと思った時が学ぶべき時です。昭和大学の有する附属病院の種々の診療科、看護部と連携して幅広い看護実践が学べるような環境を用意しています。ぜひ、本センターでキャリアを積み重ねて、患者さんにGood Practiceが提供できる認定看護師になっていただきたいと願っています。



センター長  
三村 洋美

## 教育目的・理念

本学は医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部と大学院を擁し、医療に関連するあらゆる学問を総合的に創造する、私立医系総合大学である。建学の精神である「至誠一貫」のもと、真心を持って国民一人ひとりの健康を守るために孜孜として尽力することが本学の使命です。昭和大学はこの教育理念に基づき、知識や技能の修得だけでなく、生命の追究に必要な人間性、独創性を培うことのできる全人間的教育を行い、優れた医療人の育成を目指しています。

# 教育課程スケジュール

## 修業期間

11月中旬までを特定行為研修、11月下旬から認定看護師教育課程と分けて学習していきます。6月から9月までの3カ月間はEラーニングを活用し、自宅学習となるため勤務と併用しながらの受講も可能です。



## 定員

### ◆認定看護師教育課程 [B課程]

手術看護分野：(16名) 腎不全看護分野：(16名)  
 認知症看護分野：(16名) 感染管理分野：(16名)  
 クリティカルケア分野：(16名)

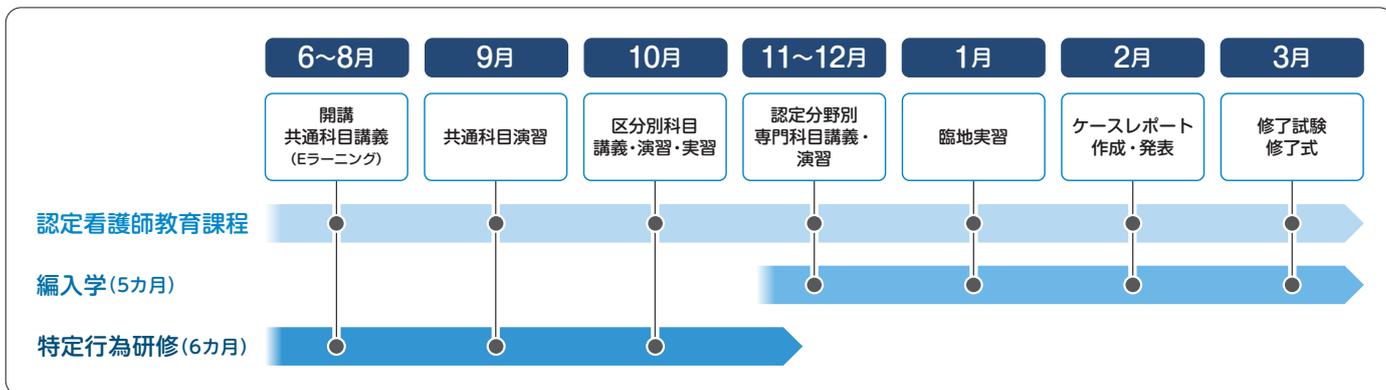
### ◆編入学 [当該特定行為研修修了者]：(各分野若干名)

### ◆特定行為研修 [当該認定看護師資格 (A課程) 保有者]：(各分野若干名)

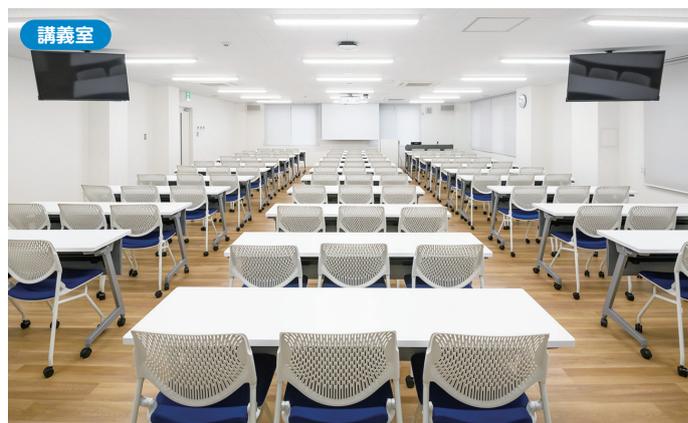
本教育課程 (B課程) は、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムとして、文部科学省から「職業実践力育成プログラム (BP)」として認定されています。

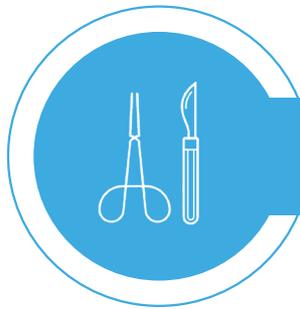


**スケジュール** 開講期間は6月から3月までの10カ月です。



## 学習環境





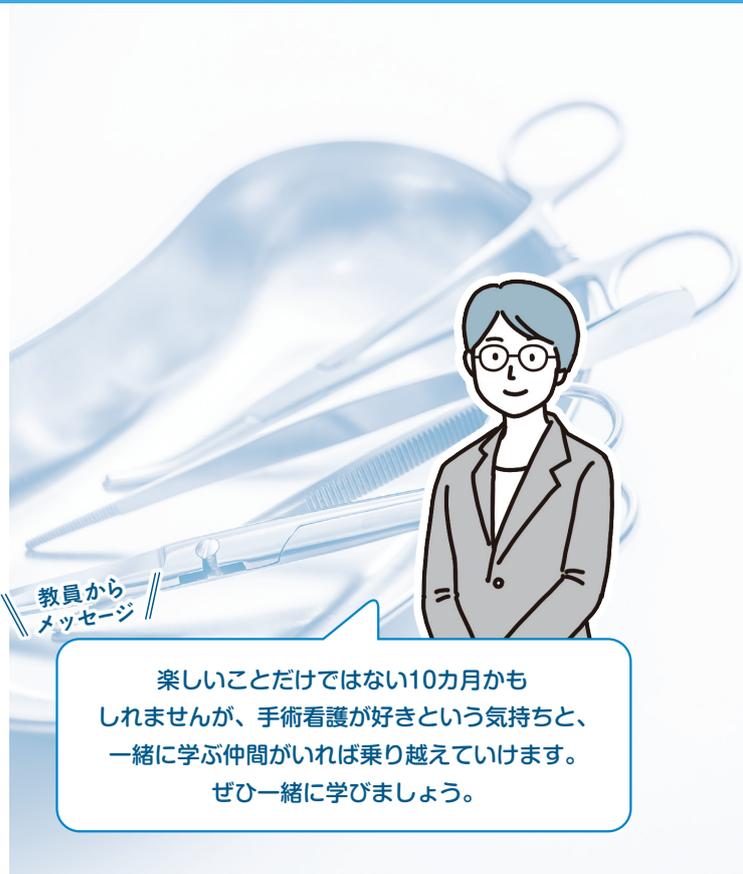
# 手術看護分野

## PERIOPERATIVE NURSING

知りたいと思う探究心を  
追求していこう！

手術看護分野では、手術が必要とされた時から術後急性期にかけて看護を必要とする患者に対して、手術侵襲やそれによって引き起こされる苦痛を最小限にとどめ、術後急性期からの速やかな回復を目指した看護ができることを目指します。手術中の看護はもちろん、術前のリスクアセスメント、術後の回復援助など、周術期に必要な知識、技術を幅広く学びます。昭和大学認定看護師教育センターでは、学内の講義だけではなく、手術体位や医療材料、医療機器の適正使用を学ぶ科目では、学外施設での演習を行い、より臨床に近い状況で学修を行います。

カリキュラムに含まれる特定行為は「術中麻酔管理領域パッケージ」です。タスクシフト、タスクシェアのイメージが大きい特定行為区分ですが、麻酔に関連する知識や技術に基づく臨床推論力や病態判断力を強化することで、手術を受ける患者への看護をさらに広く深く考えることができます。



教員から  
メッセージ

楽しいことだけではない10カ月かも  
しれませんが、手術看護が好きという気持ちと、  
一緒に学ぶ仲間がいれば乗り越えていけます。  
ぜひ一緒に学びましょう。

科目名	教科目名	時間数	
共通科目	1. 臨床病態生理学	40	380
	2. 臨床推論	45	
	3. 臨床推論：医療面接	15	
	4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
	5. フィジカルアセスメント：応用	30	
	6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
	7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
	8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
	9. 疾病・臨床病態概論	40	
	10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
	11. 医療安全学：医療倫理	15	
	12. 医療安全学：医療安全管理	15	
	13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
	14. 特定行為実践	15	
	15. 指導	15	
	16. 相談	15	
	17. 看護管理	15	
専門科目	1. 手術看護概論 2. 手術侵襲と生体管理（基礎編） 3. 手術侵襲と生体管理Ⅱ（応用編） 4. 手術を受ける患者・家族の理解とケア 5. 手術室におけるリスクマネジメント 6. 手術看護技術Ⅰ 7. 手術看護技術Ⅱ	30 15 30 15 30 45 15	180
	1. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）管理 3. 動脈血液ガス分析関連 4. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 5. 術後疼痛管理関連 6. 循環動態に係る薬剤投与関連	90	術中麻酔管理領域 パッケージ 90
演習・実習	統合演習	15	165
	臨地実習	150	
合計時間数			815時間

\* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。

特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。



## すべての腎不全患者のための よき実践者をめざす

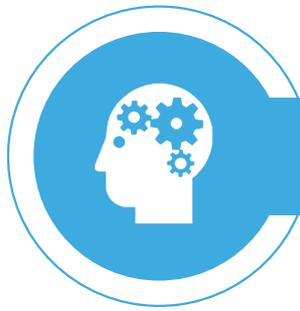
腎不全看護分野では施設内での看護に留まらず、地域も含むあらゆる場において、腎不全患者および家族に対し、慢性腎臓病の病期に応じた必要な支援を多職種と協働しながら水準の高い看護実践ができる認定看護師の養成を行っています。病期に応じた支援とは末期腎不全患者に限らず、腎不全の予防や腎不全の進展および重症化の予防、終末期への支援も含まれます。これらに対し教育課程では特定行為研修と合わせ、腎不全を基礎疾患とする人の病態と治療の理解を強化しています。

また腹膜透析やフットケア、バスキュラーアクセスの管理などの技術演習、事例を用いた看護実践の検討などを取り入れ、知識と技術の統合を図っています。講義では大学病院の医師をはじめ、現場で活躍している認定看護師が担当することで、実践的な内容が豊富にあり、今後の活動のイメージにつながっています。

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	40	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野 専門科目	1. 腎不全看護概論	15	195
		2. 病態生理と治療法概論Ⅰ	15	
	3. 病態生理と治療法概論Ⅱ	30		
	4. 腎不全患者の理解	30		
	5. 腎不全患者及び家族の療養支援	30		
	6. 治療を支える看護に必要な知識・技術	30		
	7. 治療環境に応じた安全管理	15		
	8. 腎不全看護における多職種連携と社会的支援	30		
	特定行為 研修区分別科目	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	37
		2. 透析管理関連	15	
演習・実習		統合演習	15	165
		臨地実習	150	
合計時間数			777 時間	

\* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。

特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。



# 認知症看護分野

DEMENTIA NURSING

## よく観て、よく察する

認知症看護分野では、認知症の人がどのような治療環境・療養環境においても、その人らしく尊厳を保持して生活を維持できるよう、看護実践のスペシャリストとして知識や技術を修得すると共に多様性に対応できる看護観を養います。

認知症看護認定看護師には、認知症の人の持てる力を信じて様々な可能性を検討するクリエイティブな側面と、高い臨床推論力や病態判断力、生活機能の適切な評価といった科学的根拠を追求する側面の両方を身に着ける必要があります。講義や演習、受講生同士のディスカッションを通して、皆さんが自分の言葉で「認知症看護とは何か」を語るできるようになっていただきたいです。認知症の人の看護は、倫理的な問題をはじめ意思決定支援の難しさなど課題はたくさんありますが、理想と現実の違いに目を向けるのではなく、現実を理想に近づけるための努力を積み重ねることが重要です。



教員から  
メッセージ

人を理解するとはどういうことなのか、  
これこそが認知症看護のKEYだと思います。  
当事者本位のケアとは何かを一緒に追求しましょう。

科目名		教科目名	時間数	
共通科目		1. 臨床病態生理学	40	380
		2. 臨床推論	45	
		3. 臨床推論：医療面接	15	
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
		5. フィジカルアセスメント：応用	30	
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
		9. 疾病・臨床病態概論	40	
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
		11. 医療安全学：医療倫理	15	
		12. 医療安全学：医療安全管理	15	
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
		14. 特定行為実践	15	
		15. 指導	15	
		16. 相談	15	
		17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野 専門科目	1. 認知症看護概論	30	180
		2. 認知症の病態生理・臨床診断・治療	45	
		3. 認知症看護における倫理	15	
		4. 認知症の人とのコミュニケーション	15	
		5. 認知症の人のケアマネジメント	45	
		6. 認知症の人の生活機能の評価と支援	30	
		7. 認知症の人の家族支援	15	
演習・実習	特定行為 研修区分別科目	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22	90
		2. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35	
演習・実習		統合演習	15	165
		臨地実習	150	
合計時間数			797 時間	

\* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。  
特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。



教員から  
メッセージ

自分自身が「看護師」であることを忘れず、  
患者や職員などにとって、よりよい感染管理とは  
なにか、一緒に探求していきましょう。

### 自信を持って携わろう！

感染管理分野では、職員や患者・家族、地域住民の方などに対し、医療関連感染や感染管理に関わるニーズを多角的に捉え、熟練した看護技術および知識を用いることで、感染管理の質向上につなげることができる認定看護師の育成を目指します。当センターでの学びは、自分が今まで取り組んできた感染管理について一度立ち返る機会となり、当該分野で活躍する講師陣からの講義や臨地実習を通して、さらに視野を広げることができます。学びにより、今まで以上に自信をもって感染管理に携われることにつながります。

また、さまざまな施設から同じ目標を持った同窓生がいることで、悩みを分かち合いながら、互いに協力しあい研鑽を積むことができる環境です。当センターで、高度な管理能力や高い臨床推論力を兼ね備え、チーム医療のキーパーソンとしてリーダーシップを発揮し、倫理的配慮を忘れず医療関連感染予防・感染管理ができるようになってみませんか。

科目名		教科目名	時間数
共通科目		1. 臨床病態生理学	40
		2. 臨床推論	45
		3. 臨床推論：医療面接	15
		4. フィジカルアセスメント：基礎	30
		5. フィジカルアセスメント：応用	30
		6. 臨床薬理学：薬物動態	15
		7. 臨床薬理学：薬理作用	15
		8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30
		9. 疾病・臨床病態概論	40
		10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15
		11. 医療安全学：医療倫理	15
		12. 医療安全学：医療安全管理	15
		13. チーム医療論（特定行為実践）	15
		14. 特定行為実践	15
		15. 指導	15
		16. 相談	15
		17. 看護管理	15
専門科目	認定看護分野 専門科目	1. 感染管理学	15
		2. 疫学・統計学	30
		3. 微生物学	30
		4. 医療関連感染サーベイランス	45
		5. 感染防止技術	30
		6. 職業感染管理	15
		7. 感染管理指導と相談	15
		8. 洗浄・消毒・滅菌とファシリティマネジメント	15
演習・実習	特定行為 研修区別科目	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22
		2. 感染に係る薬剤投与関連	39
演習・実習		統合演習	15
		臨地実習	150
合計時間数			801 時間

\* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。

特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。



# クリティカルケア分野

CRITICAL CARE

## 実働できる種を蒔く！

クリティカルケア分野は、変わりゆく医療や社会のニーズから、救急看護分野と集中ケア分野に共通する知識と技術をクリティカルケアのコアとなる臨床実践能力として位置づけられています。そして、多様性をもつ対象に対応できる新たな分野として、救急看護分野と集中ケア分野がひとつに統合され創設された分野です。

クリティカルケア認定看護師には、年齢や軽症重症を問わず、あらゆる場で急性期にある患者に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づいた、初期対応および重症化回避と早期回復支援を行うことが期待されています。また、特定行為研修が新たに組み込まれたことで、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連」、「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」「循環動態に係る薬剤投与に関連」の3区分、11行為の習得が可能となりました。あらゆる場で急性期にある患者に対して、タイムリーな看護提供ができるクリティカル認定看護師育成を目指しています。



教員からメッセージ

クリティカルケア分野は2023年度から新しくできた分野です。5分野の中で一番多くの特定行為症例実習が必要ですが、クリティカルケア認定看護師資格取得に向けて一緒に頑張りませんか！

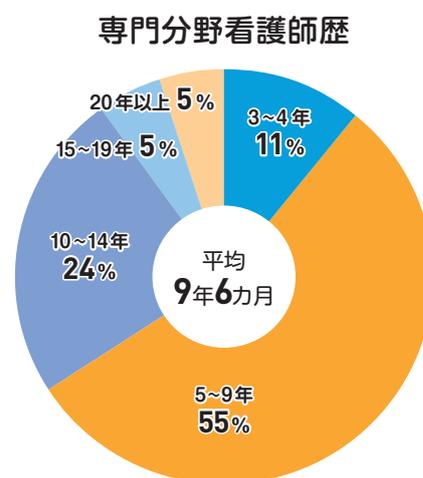
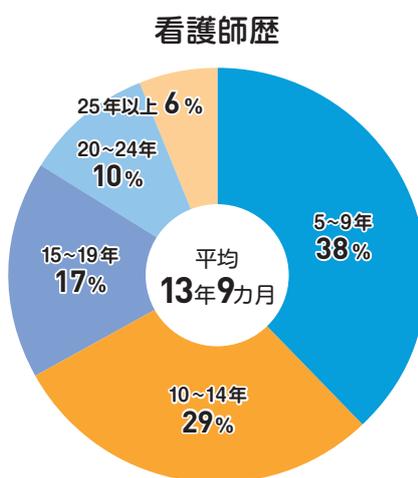
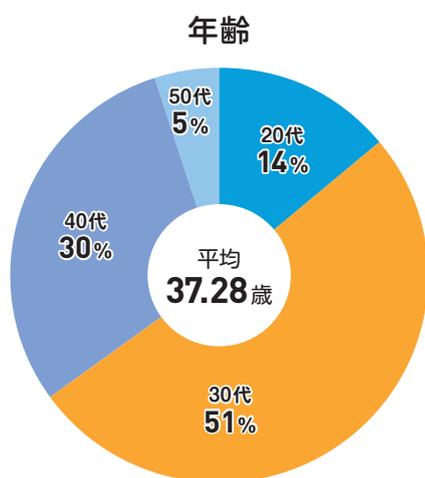
科目名	教科目名	時間数	
共通科目	1. 臨床病態生理学	40	380
	2. 臨床推論	45	
	3. 臨床推論：医療面接	15	
	4. フィジカルアセスメント：基礎	30	
	5. フィジカルアセスメント：応用	30	
	6. 臨床薬理学：薬物動態	15	
	7. 臨床薬理学：薬理作用	15	
	8. 臨床薬理学：薬物治療・管理	30	
	9. 疾病・臨床病態概論	40	
	10. 疾病・臨床病態概論：状況別	15	
	11. 医療安全学：医療倫理	15	
	12. 医療安全学：医療安全管理	15	
	13. チーム医療論（特定行為実践）	15	
	14. 特定行為実践	15	
	15. 指導	15	
	16. 相談	15	
	17. 看護管理	15	
専門科目	1. クリティカルケア看護概論	15	180
	2. 主要病態とケア	45	
	3. 患者及び家族の心理・社会的アセスメント	15	
	4. 救急初期対応技術	45	
	5. 合併症及び機能低下の予防技術	30	
	6. 対象に応じた指導・相談技術	15	
	7. クリティカルケアにおけるチーム医療	15	
特定行為研修区分別科目	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与に関連	22	99
	2. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	39	
	3. 循環動態に係る薬剤投与に関連	38	
演習・実習	統合演習	15	165
	臨地実習	150	
合計時間数			824時間

\* 認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。  
特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。

## 受講生データ

全国各地から受講生が来ています(勤務地より算出)。年齢や勤務地・経験年数も様々であり、5分野あるからこそ分野を超えた交流があり、新しい学びに出会えます。

北海道・東北	5人
関東	48人
中部	13人
近畿	5人
中国	2人
四国	3人
九州・沖縄	4人
総計	80人



## Q & A

**Q** 入学試験はどんな問題が出ますか？

**A**

入学試験ではすべての分野に共通する問題と、分野ごとに異なる専門分野の問題が出題されます。どちらも看護師として必要な基本的な知識が問われます。なお、過去問題は開示していません。

**Q** パソコンを使えないとダメですか？

**A**

課題レポートやプレゼンテーション形式の授業がありますので、Word、Excel、PowerPointを使えることが必須です。Eラーニングや授業資料配布もPCを使用しますので、開講までに身につけましょう。

**Q** Eラーニングの期間は働けますか？

**A**

手術看護分野、クリティカルケア分野が平日に1日3時間程度、その他の分野は1日2時間程度のEラーニングの受講が必要です。学修と仕事のバランスを考えて、毎年多くの人が働きながら学修をしています。

## 修了生の声

“人として  
成長したその先へ”



### K.W さん (手術看護分野)

私は、これまで手術看護とは何かを常に考えてきました。教育センターでは他分野と共に授業をする機会があり、思考を整理し言語化する能力が培われ、内的に成長が出来ます。また、講義や実習を

通じ、手術を受ける患者さんへ先入観を持たず、幅広い視野で捉えることが出来るようになりました。教育センターで出会った先生や仲間との繋がりを大切に、周術期看護のプロフェッショナルとして、患者さんのその人らしさに合った看護を探究し、実践していきます。

### T.M さん (腎不全看護分野)

私が認定看護師を目指したきっかけは、現場での指導や教育をもっと正確にわかりやすく伝える事ができるようになる事と、CKD重症化予防チームを作りたいと思ったからです。授業では他分野との交

流があり、とても楽しく深い学びに繋がりました。年齢の差はありましたが、辛さや苦しさを“仲間”と支え合いながら乗り越えて目標に向かうことができました。これから腎不全看護認定看護師として地域の患者さんがその人らしい生活が送れる支援をしていきたいと考えています。



“My wish & My challenge”

“仲間と支え合い  
認知症看護認定  
看護師として  
踏み出した第一歩”



### T.C さん (認知症看護分野)

社会人になって改めて学び直す大切さ、興味のあることを深める楽しさを感じながら充実した日々を送っていましたが、どんな時も仲間がそばにいて、

支えてくれました。10ヶ月間学び終えた今でも、認知症のことをすべてわかっているとは言えません。しかし、看護師として、認知症の人と関わる人間として「認知症のその『人』」のことを少しでも分かろうとして歩み続ける」そんな存在でありたいと思います。

### N.H さん (感染管理分野)

昭和大学認定看護師教育センターは全国から受講生が集まっており、目標に向かって一緒に取り組むことができる仲間たちと出会うことができました。講義は他の分野とのディスカッションが多くあ

り、互いの専門性を高め合う内容でした。この取り組みにより感染管理の専門家として、チーム医療に重要である相手の立場や考えを尊重した関り方を学ぶことができました。そして、分野を越えた仲間たちとの繋がりは今後も大切にしていきたいと思っています。



“分野を超えた  
仲間たちと専門性を  
高め合えます”

“高め合える  
仲間と出会え、  
成長できる環境です！”



### K.S さん (クリティカルケア分野)

私は認定看護師の的確な患者評価や看護実践に憧れて、認定看護師を目指しました。昭和大学認定看護師教育センターでは、様々な分野の受講生とディスカッションを繰り返すことで、看護の視点が

大きく広がりました。また、思考のプロセスを言語化する重要性やスキルを学びました。この学びをチームで共有し、患者やその家族に還元できるように活動していきたいです。皆さまにもぜひクリティカルケアのやりがい、おもしろさを体感していただきたいです。

# インフォメーション

## 納入金

### B 課程

手術看護	腎不全看護	認知症看護	感染管理	クリティカルケア
1,250,000 円	1,180,000 円	1,210,000 円	1,220,000 円	1,260,000 円

### 特定行為研修 (対象：当該認定看護師資格 (A 課程) 保有者)

手術看護	腎不全看護	認知症看護	感染管理	クリティカルケア
740,000 円	650,000 円	680,000 円	690,000 円	750,000 円

### 編入学 (対象：当該特定行為研修修了者)

手術看護	腎不全看護	認知症看護	感染管理	クリティカルケア
560,000 円	580,000 円	580,000 円	580,000 円	560,000 円

※入学金、受講料、認定課程実習費を含む。(特定行為研修は、入学金、受講料のみ)

※上記受講料以外に、書籍代、遠隔授業のためのWi-fiなどの通信環境を整える費用が必要となる。

※特定行為研修については、自施設実習ができない場合に別途実習費が生じる場合がある。 ※その他交通費等については、実費負担となる。

## 教育訓練給付制度

本学認定看護師教育課程は、厚生労働省より、教育訓練給付制度指定講座の指定を受けております。教育訓練給付制度とは、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に本人が支払った受講費用の一部が公共職業安定所(ハロー

ワーク)から支給されます。この制度の概要や手続き方法に関しては、厚生労働省ホームページ及び居住の公共職業安定所でご確認ください。

### 専門実践教育訓練指定講座 ※1

手術看護分野・腎不全看護分野・認知症看護分野

※1 受講費用の最大70% (年間上限56万円)。専門実践教育訓練の給付を受けるには、開講1カ月前までにご自身でハローワークへの申請手続きが必要です。

### 一般教育訓練指定講座 ※2

感染管理分野・クリティカルケア分野

※2 受講費用の20% (年間上限10万円)。専門実践教育訓練へ変更申請予定(2025年度より適用)

その他日本看護協会奨学金などもございます。

## 学生寮

旗の台キャンパス周辺に、複数の職員寮があり、空き状況により受講生の入寮も可能です。例年10名程度が入寮しています。寮費などの詳細については、入学者全員へお知らせし、開講式前後に入寮希望を取ります。

### 大岡山寮

所在地：  
〒145-0062 大田区北千束1-38-1

### 第一旗の台寮

所在地：  
〒142-0064 品川区旗の台2-1-11





# 昭和大学 認定看護師教育センター

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-8-12  
TEL.03-3784-8794 FAX.03-3784-8276  
<https://www.showa-u.ac.jp/education/cn/>  
E-mail: showanintei@nr.showa-u.ac.jp

